

ソフトテニスの普及・発展を願い

「FAS CUP2026」を開催

(株)エフエーエス

(株)エフエーエス(仲多度郡まんのう町宮田七二四―三二 内浪達也社長)は、2月21日・22日に善通寺市民体育館においてFAS CUP 2026を開催する。

ソフトテニスのトーナメント大会で、ソフトテニスのプロ選手の活動を後押しするため新設されたソフトテニス賞金大会で、今回で3回目となる。

地域の子どもたちにトップ選手のプレーを肌で感じてもらいたい、ソフトテニスという競



技に夢と希望を持って憧れる競技にしたいという同社の強い思いから、この大会開催の意義は大きい。

一般的な国内大会では賞金の設定が少ない中、同大会ではトッププレーヤーの競技機会創出とファン層の拡大を目指す貴重な大会となっている。2023年大会開催時には、ソフトテニス史上初のプロプレーヤー・船水颯人選手が優勝するなど、大会当初から有名選手が参加しており、競技全体の環境形成にとって価値ある試み。

試合はインドア有観客でおこない観戦は無料。YouTubeによる配信もおこなう。21日は団体戦をおこない、団体戦優勝賞金は80万円、準優勝40万円、22日は個人戦で個人戦優勝賞金は男女各20万円。

団体戦の大会形式は、1チーム男

女2名ずつによる男子ダブルス・女子ダブルス・ミックスダブルスとなっており、国内主要大会の優勝ペアを中心に海外招待選手も含め、大会本部にて推薦した有力選手による6チームで争われる。

また大人気ソフトテニスYouTubeの、あゆタロウによるイベントも開催される。

同社では「この大会はご支援いただくみなさまがあつてこそその取り組み。この大会を盛り上げて、少しでも地域の活性化に貢献できれば幸いです」と語っている。

賞金付き大会は、従来アマチュア色が強かったソフトテニス界にとって新たな収益機会で、選手が競技に専念できる環境づくりやスポンサーの誘致など、新たなビジネスモデル形成につながる可能性があり、競技全体に新しい価値基準をもたらすことで、選手・観客ともに楽しめる市場形成の一翼を担うことが予測される。

競技人口の減少や学校における部活動制度の変化など、競技環境に影響を与える厳しい状況ではあるが、FAS CUPが持続可能な大会として定着することで、ソフトテニス界全体の価値向上につながると考えられ、今後の展開が注目される。